

笠原稲荷神社の絵馬（五十部町西船）

この神社は稲倉魂命を守護神としている。

創建は18世紀中期といわれている。当時の事業家や古老が中心となって、稲荷信仰を説き創建したという。

本殿に奉納されている「絵馬奉納参詣図」は、嘉永2年2月（1849年）と記されている。

「飾り馬図」は三重地区内では希少なものである。



境内にはナンジャモンジャの珍木もある



絵馬奉納参詣図



参詣図



参詣図



飾り馬図

三重地区は、絵馬が沢山残されていることで、全国的に知られている。美術的に価値のあるものや歴史資料として貴重なものも多い。そんな大絵馬、小絵馬が長い年月を経て、破損したりして姿を消しつつある。現在この文化財の保護のあり方が課題になっている。

三重地区の絵馬をまとめるにあたり、足利絵馬の会の会長さんである（足利市文化財保護推進委員でもある）小倉喜兵衛さんには格別にお世話になった。うんちくを傾けた絵馬のお話に、しばし時を忘れるほどであった。記述の多くが、小倉さんの書かれたものによっていることを申し添えたい。